

は・5・5

ビジネスの国際化に伴って秘書業務も外国語の知識が必要になっているが、言語教育と秘書教育を結び付けた「日本国際秘書学会」がこのほど発足、5日午前10時から大手前女子大(兵庫県西宮市)で第1回研究大会を開く。

大会では「秘書の教育・研究の現状と国際秘書教育研究の課題」「国際秘書の条件」などの研究報告と小坂博昭・松下興産顧問による記念講演「国際秘書の条件」がある。

同学会についての問い合わせは事務局の戸原女子短大英語研究室(0797-23-0663内線2331)の児島晃教授、西沢真紀子助教授へ。

○花園大に人権教育研究室 花園大(京都市中京区)は人権教育研究室(室長、八木晃介・教授)を発足させ、このほど「憲報」創刊号を発行するなど活動を始めている。

研究室は人権についての学内の教育・研究のセンターの役割をになうもので、定期的に研究会を開くほか「憲報」を発行する。また「大学の内外に開かれた研究室」として、たとえば研究会は一般市民にも参加を呼びかけている。

第2回の研究会例会は16日午後8時から同大学体育館で。浜田寿美男・社会福祉学部教授が「理解という名の差別―甲山事件の園児証言問題から」の報告を行う。問い合わせは同研究室(075-811-5181)へ。

○大学歌歌詞募集 姫路学院女子短期大学(兵庫県福崎町)が大学歌の歌詞を一般公募している。21世紀にははやく女性の育成を目指すにふさわしい内容で、1番から3番まで作詞し、400字詰め原稿用紙に記入する。入選作には賞状、額と50万円が贈られる。締め切りは12月10日(当日消印有効)。

応募先は〒679-22 兵庫県神崎郡福崎町高岡 姫路学院女子短期大学学歌選定事務局。問い合わせは選定事務局(電話0790-22-2620)へ。

○大学改革に大半が前向き 中堅予備校17校で組織する大学進学研究会が全国の国公立大学にアンケートを行い、設置基準改正以後の動向などについて聞いている(対象519大学、回答は238大学)。これによると、まず大学審議会各申や設置基準改正についての大学

講座催し

関西大経済・政治研究所 公開講座 9日午後1時、せは総務課(075-574-4111)。

京都産業大神山映画会 12日午前8時半開場、京都府北区上賀茂本山、同大学北山ホール。同大会(9時)12時55分VTR「クロキッス」(11時5分)15時5分上映。無料。問い合わせは生涯学習センター(075-705-1111)内(075-705-1114)。

寛谷講座「家族生活について考える」 5、12、19日午後1時半、JR京都駅中央口東側、ルネサンスビル4階ホール。5日「日本とアメリカの家族問題」黒川昭登・社会学部教授。12日「スウェーデンにおける結婚と家族生活」高島昌二・社会学部教授。19日「韓国の家族変遷」山中美由紀・社会学部助教授。無料。問い合わせは広報課(075-642-1111)内(075-642-1103)。

新書生誕150年記念 7200。甲南大現代講座 14日午後1時、神戸市東灘区岡本六、神戸国際会議場。『邪馬台国と卑弥呼の謎』黒岩重吉氏(作家)▽人間・キリスト者・教育者新島襄博士。『文学部新島襄博士』。問い合わせは今井雄雄氏(078-241-8431)。

センターは具体的にどのような活動をするか、これについては、またアイデアの段階だが、まず大学そのものの研究、国公立大学の教職員が集まって大学の教育、研究、管理運営や経営の問題を話し合う。また「大学」以外の学問分野

「大きい大学も小さい大学も手をつないで」実現していくというものだ。研究会の今後のセンターは、設立運動のスケジュールは「まず、京都市の21プランの進行を見守っていく。そして各大学理事会のコンセンサスが得られるように働きかけを強める。同時に一般教職員の議論を巻き起こしていくたい(斎藤教授)としており、研究会でこれまで議論をまとめた「大学は生き残るか21世紀への大学」(機関紙共同出版)を、このほど出版した。

大学の動きは注目される。このページの「このページへの意見」ニュース提供は〒580 大阪市北区堂島1-6の20、毎日新聞学芸部「カレッジング」係(FAx06-348-8871)へお寄せください。次回は12月16日(水)のため、14日以降は住所が〒530-151 大阪市北区梅田3-4の5、FAxは06-348-8204に変わります。

このページへの意見 具、ニュース提供は〒580 大阪市北区堂島1-6の20、毎日新聞学芸部「カレッジング」係(FAx06-348-8871)へお寄せください。次回は12月16日(水)のため、14日以降は住所が〒530-151 大阪市北区梅田3-4の5、FAxは06-348-8204に変わります。

動き出した 大学間の連携

都市づくりを目指す京都市もこの構想に関心を寄せており、具体化の可能性は強い。構想を進めている大学教職員有志の集まり「高等教育研究会」(代表、岡本博公・同志社大商学部教授)の事務局長、斎藤敏康・立命館大経済学部教授にその動きについて聞いた。(編集委員、中村竜兵)

京都で「共同利用機関」構想



『大学は生れられたか』斎藤敏康教授著

高等教育研究会が出版した「大学は生き残るか」 各大学の個性生かし研究 市も関心、具体化へ

各大学の個性生かし研究

高等教育研究会は四年前に組織された京都の大学人による高等教育の研究団体。最初は私大の教職員だけの組織だったが、最近では国立大の教員にも広がっている。研究会の関心は何と言っても、最近の大学審議会答申やそれに伴った大学設置基準改正への、教職員としての対応。特に、これらを受けて各大学での組織、カリキュラム改革の動きが盛んになっていること、これまでになく話し合いの熱が高まっていること、

このインテリジェントな教育活動を通じて大学間の単位互換の動きも促進する。社会人教育、リカレント教育、企業研修の場として、使えるだろうし、また、いわゆる「産学連携」のインテリジェント(取り持ち)の機能を果たすことも考えられる。つまり、「大学だけでは実現困難な課題を

目下、ブーメランに人れ掲げている。大教室で学生の頭上にヒューンとブーメランを投げ、戻ってきたところを鮮やかにキャッチ、度肝を抜いて学生の眼気をさます。別に奇をてらっているわけではない。これ、センセーショナルな情報処理戦略、つまりコンピュータ理論の導入の工夫なのである。

ブーメランおたく

大阪経済大経営学部助教授 にしやま 西山 豊さん(44)



ブーメランに人れ掲げている。大教室で学生の頭上にヒューンとブーメランを投げ、戻ってきたところを鮮やかにキャッチ、度肝を抜いて学生の眼気をさます。別に奇をてらっているわけではない。これ、センセーショナルな情報処理戦略、つまりコンピュータ理論の導入の工夫なのである。

このページへの意見 具、ニュース提供は〒580 大阪市北区堂島1-6の20、毎日新聞学芸部「カレッジング」係(FAx06-348-8871)へお寄せください。次回は12月16日(水)のため、14日以降は住所が〒530-151 大阪市北区梅田3-4の5、FAxは06-348-8204に変わります。

このページへの意見 具、ニュース提供は〒580 大阪市北区堂島1-6の20、毎日新聞学芸部「カレッジング」係(FAx06-348-8871)へお寄せください。次回は12月16日(水)のため、14日以降は住所が〒530-151 大阪市北区梅田3-4の5、FAxは06-348-8204に変わります。